

乾燥生ごみなど集めます

－各月：乾燥生ごみ(台所から出た生ごみを電動生ごみ処理機にかけたもの)－
－3/24(土)のみ、ダンボールコンポストなどで作った完熟堆肥も集めます－

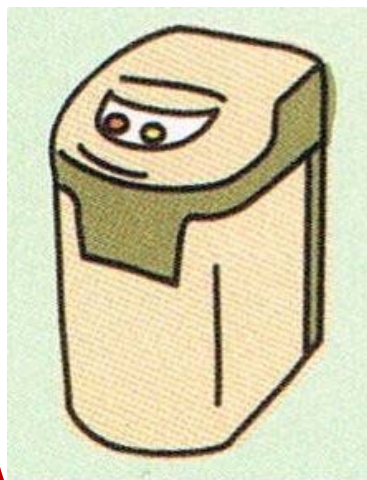
12～3月までの第4土曜日

実施日時：午前9時～午前11時

12/24(土)・1/28(土)・2/25(土)・3/24(土)

受付場所：麻生区役所ロビー

(ごみ相談コーナー横)



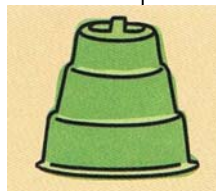
- 集めたものは麻生区内で有効に活用させていただきます。ご自宅で使い切れない方、ご持参ください。
- 東京農業大学で作った生ごみ肥料「みどりくん」を、ご希望の方に差し上げます。

主催 第3期麻生区区民会議
連絡先 麻生区役所企画課
Tel 044-965-5112

使いきれない方も安心！今から堆肥づくりにチャレンジしませんか？

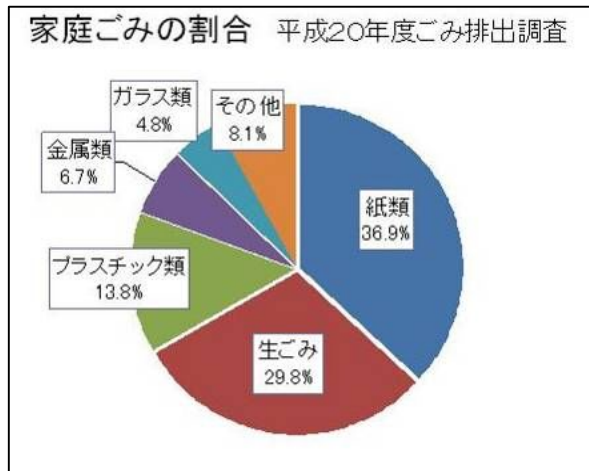
第3期区民会議の環境・緑化部会では、「循環型のまち・生ごみリサイクル」をテーマにあげ、調査・審議などを進めています。この取組の一環としてモデル事業を実施することになりました。

★3/24(土)は乾燥生ごみのほかに完熟堆肥も集めます。
今から堆肥づくりにチャレンジしても十分間に合います。
余った堆肥や乾燥生ごみを是非ご提供ください。



モデル事業の経緯

「地域の課題を、区民が主体となって発見し、その課題の解決に向けた取り組みを調査・審議する」ために平成18年に区民会議が設置されました。第2期区民会議で「誰もが身近にできるエコの取組」ということで「エコのまち麻生の推進・地産地消と生ごみリサイクル」が審議されました。第3期区民会議の環境・緑化部会では、これを継承・発展させ「循環型のまち・生ごみリサイクル」をテーマにあげ調査・審議などを進めています。

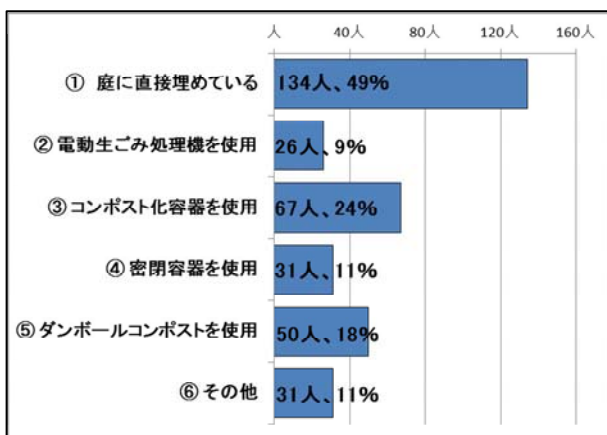


参考) 川崎市では年間約33万トンの家庭系ごみを、約157億円という費用をかけて処理しています。これは1人年間11,265円になります。

資源の循環につなげることができます。これを体験する、小学校や保育園、市民グループや自治会などでの取組も生まれてきています。

第3期区民会議では麻生区民の方々が生ごみについてどのように思っているかを「麻生区生ごみアンケート」調査を行い、結果をまとめました。中間報告書は区役所区民会議のラックにあります。企画課または区役所ホームページでもご覧になれます。

- アンケート実施期間：2011/5/25～7/31
- 対象：麻生区在住者
- 回収：50グループ 1,165人



「生ごみ減量をしていますか?」という設問では85%の方が「水切り」「買いすぎない」などいろいろ工夫されていました。23% 274人の方が、左記の様々な方法で堆肥化など生ごみリサイクルに取り組んでいらっしゃいました。その方々に「あなたのつくった生ごみ堆肥を回収してほしいですか?」と伺ったところ、「堆肥の回収は不要。(自分で使いたいから)」という回答が74%あり、「回収してほしい」が14% 38名でした。このことから、現在は堆肥を使う人、使える人が生ごみリサイクルに取り組んでいるとも言えます。

堆肥化したくない、かつて堆肥化していたがやめた理由としては、「手間(面倒)、臭い、虫、費用、場所、時間」などがありますが、「堆肥を作っても使い道がない」「ベランダでは使い切れない」などの理由も多くみられました。区民会議では「堆肥の使い道を仲介すること」が、生ごみリサイクルを広めることにつながると考え、検討を進めてきましたが、その過程で、堆肥は簡単には譲渡できないこと(肥料取締法)、そして、乾燥生ごみの回収にも制約(廃棄物処理法)があることがわかってきました。

本モデル事業では、法律の許容範囲内で、乾燥生ごみと完熟堆肥(3月24日のみ)を集め、有効活用します。また同時に、「区民の皆様から、生ごみや堆肥の使い道についての現状やご意見を伺う」ことを目的としています。本モデル事業で得られたデータやこれまでの取組をもとに、区長への提言につなげていきたいと考えています。

皆様、ご理解ご協力どうぞよろしくおねがいたします。